

あったかトーク

第32号 2019年 晩秋号

**ひぐちのりこ
事務所
(青葉区版)**
 発行人
樋口 典子

1959年仙台市生まれ 管理栄養士
 社民党仙台市議団
 ●市民教育常任委員会
 ●防災・減災推進調査特別委員会 委員長
 ●議会運営委員会

第3回 2018年度決算など 定例会 計39議案を審議

改選後はじめてとなる仙台市議会第3回定例会は、9月19日から10月23日まで開かれ、2018年度一般・特別・企業会計決算、一般会計補正予算、条例案など、計39件の議案審査を行いました。

一般会計では、市税について教職員の人件費が県から委譲されたことに伴い、約299億円、12%の増があったものの、その分の県民税所得割臨時交付金が皆減となったこと、地方交付税や国庫負担金の減などから、歳入総額は約80億円、1.5%減の5,134億円となりました。歳出面では、健康福祉費や消防費などが増となったものの、全体としては震災復興関連費用の減などもあり、約58億円、1.2%減の5,019億円となりました。特別会計は

総額で約2,988億円、企業会計は約2,215億円で、総額は約1兆220億円となり、6年連続の1兆円超えとなりました。

道路照明灯問題の 和解案など補正予算

一般会計補正予算案では、道路照明灯問題の和解案をふまえた東北電力から過払い分の半額4,600万円を寄付として歳入に入れるとともに、未払い分の電気料1,140万円の歳出が盛り込まれました。更に、地下鉄南北線の車両更新に向けての約242億円(2030年までの債務負担行為)の補正も計上されました。

地球温暖化防止対策 推進条例を制定

市内の温室効果ガスを発生させる事業者には、削減報告書の提出を義務づけ、市の責務と事業者・市民の協力などを盛り込んだ「地球温暖化防止対策推進条例」の制定が上程されました。

条例改正案では、道路照明灯の不適切な事務処理を踏まえて、市長・副市長の給料を減額するもの、鶴ヶ谷・吉成保育所の建替えに伴う民営化のため



豪雨で開設された国見小学校避難所

の児童福祉条例の改正案、作並小学校及び同校新川分校、大倉小学校を上愛子小学校に統合するための学校条例改正案などが提案されました。

その他、教育委員の任命、人事委員・監査委員の選任、市農業委員の補充、人権擁護委員の選任に関する件などの人事案件も提出されました。

二票差で決算案を否決！

道路照明灯問題について、社民党市議団は一定の評価をする立場を買いましたが、一般会計の決算認定については自民党(一部は賛成)、公明党、蒼雲の会が反対し、25票対27票の2票差で否決されるという結果になりました。



柔軟剤や洗剤など、人工的で過剰な香りに苦しむ「香害」について市民団体の皆さんと意見交換



11月3日に行われた青葉区民まつり会場にて

ひぐちのりこ 市政報告&おしゃべり会

市議会報告と、今後の仙台市のビジョンなど話し合っ
ていきたいと思います。お子様連れでも参加いただけ
ます。

◆日時/12月25日(水) 15時~(1時間くらい)

◆会場/ひぐちのりこ事務所 直接お越しください。

市政や議会に関して、ご友人同士やサークルなど議員の話を直接聞いて
みたい方、お伺いいたします。お気軽にご連絡ください。

出入り
自由
無料

ひぐちのりこ事務所
 〒980-0011
 仙台市青葉区上杉3丁目9-31
 プリマヴェーラ杜王101
 TEL.022-398-8171
 FAX.022-398-8172
 セブンイレブン側からお入り
 下さい。
 お気軽にお立寄り下さい!

ひぐちのりこ 東奔西走!

10月18日 決算・一般会計補正予算等審査特別委員全体会で質疑

市有地売却(歳入)

本市の不動産売却の考え方を質しました。庁内で情報を共有しながら、財産の最も有効な活用を図る観点から検討し、売却や貸付といった方針を決定しているとの答弁でした。

公立保育所を民営化した後の敷地について、地域に根差した子どもの育成に資する保育施設があった場所として、最大限に地域への貢献を引き継ぐことができるような活用を求めました。民営化用地を本市が取得し事業者へ貸与している状況からすると、財源確保という点で売却も重要な選択肢になるところだが、案件ごとに最終的には各局区の利用要望も踏まえ整理し、その活用方針を総合的に判断しているとの答えでした。

地球温暖化防止対策

学校現場における緑のカーテンの啓発、推進について質しました。昨年度は市内の小学校7校、延べ1400名を超える児童が取り組み、うちアンケートでは3割が家庭でも作ってみたとの回答でした。市民団体、事業者などが地球

温暖化防止対策に積極的にかかわっている「せんだいE-Action実行委員会」に教育委員会の参加を求めました。教育委員会の参加により、小中学校のさらなる連携が期待できることから、協議していきたいとの答弁でした。

生活保護の業務

生活保護を利用できる人のうち、実際に利用している人の割合は5割を切っていたことで、利用要件を満たす人がもれなく利用することについて質問しました。基準や要件を満たす方が適切かつ速やかに保護の受給につながるよう運用していくことが重要である。生活保護業務について、専門家などの情報共有などを質し、受給者の方々を支援する実務を通して資質向上に努めている。課題によっては、法テラスなど専門機関の活用にも適切に取り組んでいるとのことでした。保護のしおりのHPへの掲載も求めました。



6月20日 健康福祉常任委員会で 介護予防・日常生活支援総合事業について質問

訪問型短期集中予防サービスの内容は「栄養改善」および「社会参加・生活習慣の改善」だったが、2017年度の予算が約281万円、決算が約52万円であり利用者が少ない。その原因と今後について質しました。サービスの紹介についてまだ十分に把握できていないことなどが要因として考えられる。今後は利用者に理解してもらえよう周知を図り、サービスの利用へとつなげていきたいと考えているとの答えでした。

また8月5日には、児童館職員の女兒に対するわいせつ事件に対し、健康福祉協議会が行われました。事件が発覚したにもかかわらず、加害者が子どもに関わらない仕事に移ったとしても、同一の場所で勤務を続けさせたことは認識が甘かったのではないかと質したほか、職員に対する児童虐待防止の研修および被害者へのケアについても求めました。

6月24日 仙台市議選、 公報などで当選者名の通称名拡大

仙台市議会の社民党、自民党、共産党、アメニティー仙台、みどりの会の現職女性議員および女性候補予定者の12人で、当選後の市公報などで通称が使用されるよう求める要望書を仙台市選挙管理委員会に提出しました。市選管は次期市議選から、戸籍名のほかに通称名を付記する方針と答え実現しました。2011年、全国で初めて仙台市議会では当選証書の通称付記が実現しています。



超党派の女性市議、予定候補者で申し入れ

お願い

「ひぐちのりこ市議会ニュースレター」を郵送でお届けしている方につきましては、発行側の情報不足から、すてにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付されるなど、ご迷惑をおかけすることもございます。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。
なお、お名前や住所などの誤字や訂正などがありましたらあわせてお知らせ頂きますよう、お願い申し上げます。

皆さんの声を聴いて、市政へ！



10月3日

市民教育常任委員会で「自転車の安全啓発ポスターについて」について質問

今年1月から施行された、自転車の安全利用に関する条例でのヘルメットの着用の啓発ポスターについて、安全の啓発が目的であれば、自転車運転にふさわしい服装など留意する必要があるのではないかと指摘しました。

あわせて、6月の総務省通知「地方公務員等のマイナンバーカードの一斉取得の推進について」に対し、強要すべきではない立場から本市の考え方について質問しました。

ご当地アイドル「お掃除ユニット仙台CLEAR'S」を起用した仙台市ポスター



10月23日 仙台市政運営および来年度予算要望を提出

毎年この時期に要望をしていますが、今年は全市105件、各区要望83件の188項目を提出しました。

仙台市からの回答は年明けの見込みです。

条例制定(5件)

子どもの権利条例・交通基本条例・給付型奨学金条例・公契約条例・まちづくり活性化条例



社民党仙台市議団が郡市長に要望書を提出

市政運営(6件)

行政サービスの多様化に対応するとともに、コンプライアンスの順守、過重労働の解消・公正・適正な入札制度、市ガス事業民営化について慎重な検討を、指定管理者制度の見直し、会計年度任用制度の運営は労働条件の改善につながる対策を、外郭団体職員等の待遇改善

市民生活(3件)

「非核平和都市」の宣言・女川原発の再稼働停止・石炭等火力発電所の新設、稼働については生活環境保全対策等を求める

そのほか、音楽ホールの着実な整備促進、いじめ・不登校対策推進、健康寿命の延伸、避難所の生活環境の向上、ブラック企業対策、食品ロス対策等について要望しています。

ひぐちのりこ 主な活動日誌

7月1日	仙台市制130年記念式	9月1日	青葉消防団、宮城消防団特別点検
7月2日	ひぐちのりこ市政報告会&おしゃべり会	9月3日	青葉はつらつ明老祭
7月12日	いじめ対策等調査特別委員会	9月9日~10日	仙台市議会臨時議会
7月14日	せんだいレインボーDay	9月29日	国見学区民大運動会
8月31日	青葉区総合防災訓練	10月20日	貝ヶ森地区文化祭

●●●これから●●●の●●●主な●●●予定●●●

11月11日~13日	市民教育常任委員会視察	11月28日	議会運営委員会、仙台の夕べ
11月20日	防災・減災推進調査特別委員会	11月29日	会派視察
11月21日	市民教育常任委員会	12月5日~20日	仙台市議会第4回定例会

10月1日

一般質問しました

多様性の反映

仙台市新総合計画の視点にもある「多様性」について、どのように反映させるのかについては、「共生」の理念を重点的な視点の一つに掲げるとともに、幅広い分野に関して「多様性」の観点から、議論を深める予定と答弁がありました。

社会保障制度などで国が示す世帯人員が夫婦と子ども2人の4人で一人稼ぎというモデル世帯は少数派となった今、多様な家族に対応した施策の反映を求めました。

家族形態の変化を含め、市民の暮らしの実情を的確に把握しながら、様々な立場や価値観の方々が安心して暮らし、活躍できるような都市環境の整備に努めていく考えと答えました。

旧姓使用、旧姓併記対応のシステム改修など

旧姓使用の実態に関しては、本年9月末現在、市長部局で旧姓使用をしている正職員は、女性170名、男性9名で、職務遂行上混乱などが生じないよ



市議会ひぐちコラム

ひぐちのりこは皆様から付託いただき、3期目をスタートさせていただいております。

第3回定例会では、決算・一般会計補正予算等審査特別委員会第3分科会の会長を担いました。

議会では、市民教育常任委員会および議会運営委員会に所属し、防災・減災推進調査特別委員会の委員長を務めることとなりました。また、仙台市国民健康保険運営推進協議会の委員および仙台・福島・山形市議会広域観光連携推進協議会委員を担うこととなりました。

「あなたの力に！」なる議員として、お声を聴き政策に活かしていくべく一層気を引き締めて取り組む所存です。

うにも努めてきた。今後も、適切な制度の周知や運用に取り組むとともに、さらに働きやすい職場環境づくりに繋がる制度となるよう検討を行っていくと答えました。

11月5日から住民票などに旧姓併記が可能となりましたが、仙台市では住民情報システム改修費等に4億1千9百万円余りの契約を行い、国からの補助金があったものの、実効性が担保されていない「旧姓併記」に対し、1億6千6百万円余りを計上しています。このことに対して質しました。

2017年5月に国から示された設計仕様書の暫定版に基づき、住民情報システムの改修作業を民間事業者へ委託したが、その後、国から複数回にわたり修正された仕様書が示され、仕様の一部が変更されたことから、作業に手戻りが発生し、一定の費用が生じているとの答弁でした。

不妊にかかる特定治療支援事業について、仙台市では事実婚が支援対象として認められていないことから、助成の対象とするよう質したことにに対し、国の補助基準に従い法律婚による夫婦を助成要件としている。今後も国の動向を見据えながら、対応していきたいと答えました。

これらの課題については、選択的夫婦別姓を法的に認めることで多くは解決するのです。

同性カップルの行政サービスについては、既存の相談窓口などを利用しやすくする観点も含め、更なる理解の促



毎月11日に行われているフラワーデモ

進と支援のあり方についての検討を進めるとの答えでした。

性暴力のない社会への実現に向けて

性暴力の被害者がつながり始め、声を上げ始めた「フラワーデモ」についての受けとめおよび被害に遭った自分を責めたり恥じたりしなくてもいい社会をめざして行政もしっかりと連携することについて質しました。

性暴力は、人間の尊厳を踏みにじる許されない行為であり、これまで、被害のことを誰にも相談できずに、長い間苦しい思いをされた方が語り始めたことは、大きな意味のあることだと受け止めている。性暴力のない社会づくりの機運が高まる中、国や関係機関とも連携をしながら、引き続き被害者に寄り添った支援に取り組んで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいとの答弁でした。

ホームページ

<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐちブログ

<http://nohiguchi.jugem.jp/>

ツイッター

twitter アカウント名
#nohiguchi

facebook

facebook ページ

Facebook

<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172